

栃木県議会議員 **いけだ 忠** とちぎ自民党議員会

おおたわら元気クラブNEWS

豊かな発想!

決断力! 突破力! 解決力!



2017.3.17 予算特別委員会総括質疑で座長

vol. 5
2017 春号

平成28年度いけだ忠議会活動他抜粋

◎平成28年 3月予算特別委員会(平成27年度)総括質疑 平成28年3月4日 池田忠質疑

- 1 肝炎対策の推進について—
・県では、ウイルス性肝炎の早期発見、早期治療に向け、今後どのように取り組んでいくのか
- 2 介護福祉士等修学資金貸付事業等の活用について—
・介護職員不足を補うためにも、本制度の有効活用が重要と考えるが、どのように取り組んでいくのか
- 3 UIJターン就職の推進について—
・「UIJターン就職加速化事業」について、今後どのような事業展開を図っていくのか
- 4 TPP対策を踏まえた圃場整備の推進について—
・国の予算に呼応し、速やかに圃場整備を進めていく必要があると考えるが、どのように対応するのか

◎平成28年度栃木県議会第340回通常会議 平成28年12月19日 池田忠質疑

- 1 県産農産物の輸出促進について —
- 2 収益性の高い農業経営体の育成に向けた取組について —
- 3 CLT(直交集成板)の普及促進について —
- 4 県内アスリートの育成・強化に向けたスポーツ医・科学支援体制の整備について —
- 5 がんになっても安心して暮らせる社会の構築について —
- 6 介護人材の確保について —
- 7 とちまるショップの運営について —
- 8 小中学校の学力向上対策について—



予算特別委員会総括質疑



2016.12.19 第340回通常会議 一般質問

後援会の皆様には、いけだ忠の議会活動、政治活動に対し、ご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。
さて本年は、地方創生をしっかりと進めて行かなければならない重要な年であります。地域資源の発掘・磨き上げ・様々なイベントを、わがまち未来創造事業(県補助事業：大田原市昨年10事業は県内最多)・とちぎ版文化プログラムなどの支援事業を活用し「大田原に住んで良かった・住み続けたい、戻り住みたい、訪れた人が移り住みたい」その様な、郷土おわたわらの実現に向け、今後も多くの皆様の声を聴き、その思いを実現するため、津久井おわたわら市政と県・国との太いパイプ役として働いてまいりますので、今後共にご支援・ご指導をお願い申し上げ、最後になりますが皆様のご健勝・ご多幸を心よりご祈念申し上げます。

豊かな発想！ **すべては子供たちの未来のために！**
決断力！ 突破力！ 解決力！

あなたのご意見をお寄せください！

栃木県議会議員いけだ忠事務所 〒324-0012 大田原市南金丸 438

TEL:0287-22-5454 E-mail:ir_ikeda@yahoo.co.jp

FAX:0287-22-5446

ホームページ

いけだ忠

検索



平成28年度 栃木県大田原市内主要事業他抜粋



2月26日 国道294号線 小川湯津上バイパス開通式出席



県道那須黒羽茂木線 両郷中央小学校付近 通学路歩道整備



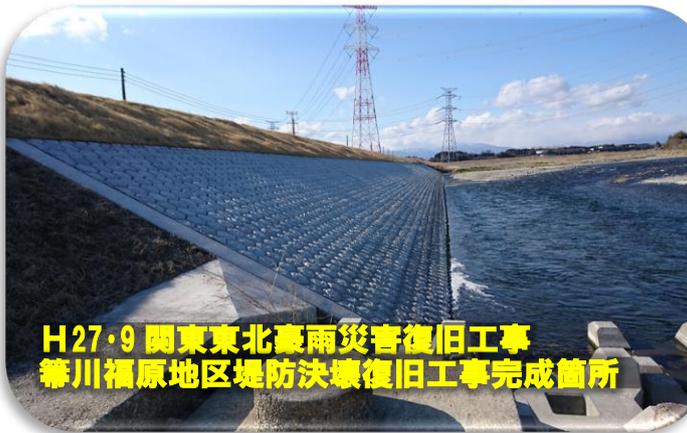
国道294号線 湯津上小学校付近 通学路歩道整備



県道大田原氏家線 親園佐久山バイパス整備(ライスラインから箒川)の工事着工



国道400号線 赤瀬地区歩道整備 4月末完成予定



H27・9 関東東北豪雨災害復旧工事 箒川福原地区堤防決壊復旧工事完成箇所



蛇尾川 宇田川橋付近 流下能力確保のための河川堆積土除去 防災工事



緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練で那須岳を登頂し、警察隊と合流



箒川 小種島大橋下流 町井川合流箇所護岸工事 完成

上記は一例であり、これまで多くの方々から様々なご要望をお聞きし、要望実現に向け活動してきました。限られた予算の中、安全・安心・命の大切さを重視優先し、皆様の思いの実現に向け、今後も頑張っております。

安全・安心・命の大切さを重視した県政活動をしつかりと進めてまいります。

栃木県議会議員海外行政調査特集



チューラビスタ・オリムピクトレーニングセンター(カリフォルニアにて)



南加栃木県人会との意見交換会



カリフォルニアの大規模稲作農場ロビンズ・ライス・カンパニーでのコシヒカリ収穫



カリフォルニア大学デービス校農学部教授からアメリカの農業事情についての講義を受けての質疑

調査団副団長としてアメリカ合衆国とカナダを訪問
十月二十三日(日)～三十日(日)までの8日間



観光農業・6次産業ナパバレー・ベリンジャー・ワイナリー〔アメリカ〕調査



カナダ・バーチウッド酪農場の6次産業の取組調査



カナダ・プリティッシュコロンビア大学CLT(直交集成材)工法調査

調査内容を必ず県民益につなげてまいります。

調査を通して、各議員の政策立案能力や資質の向上を図ることは、県民益に必ずつながるものと考えております。

調査先の選定に当たっては、本県における政策や課題について、意見交換を重ね、東京オリンピック・パラリンピックや本県での国体開催等を踏まえたスポーツ環境整備、本県進出企業の取組、女性支援、農林業関係販路拡大等の喫緊の諸課題を調査するため北アメリカを対象としました。

調査先が十四か所に及び多忙な日程でありましたが、各団員が熱心な姿勢で臨み、現地の状況、意識を直接肌で感じられたことは、非常に有益でありました。

この海外行政調査は、調査が第1章、報告書が第2章、そして議会活動での政策提言を通して本県の施策に活かし、結果を出してこそ最終章であり県民益につながると考えています。

栃木県議会では、海外行政調査の再開から4年目を迎えました。本県を取り巻く社会環境の変化に迅速に対応し、県民一人一人が満足できる社会を構築するためには、県議会において海外の先進的な取組や施策について調査し、県政に反映していくことが重要であります。